

鳥海イヌワシみらい館通信

Vol,43 2022年 夏号



鳥海イヌワシみらい館
マスコットキャラクター
「ワッシーくん」



特集「わけあって絶滅しそうです。」
環境省鳥海南麓自然保護官事務所 専門員着任のご挨拶
とびしまんちゅ流鳥見のススメ②「光学機器選び」

「アマサギ」5月 山形県酒田市 撮影：渡会裕司様

わけあって 絶滅しそうです。

地球46億年の歴史の中で、多くの生き物たちが絶滅と繁栄を繰り返してきました。私たち人類は、その長い歴史の中であって、ごく最近の短い期間を生きている生物の一種にしかすぎません。これまでの人類は環境を意のままに作り替え、多くの生物を絶滅に追いやる原因を作ってきたと言っても過言ではありません。その一方で美しい自然を愛し、生物たちを絶滅させたくないとも願っています。私たちがまもろうとしている猛禽類、イヌワシやクマタカが、どのような理由で絶滅の危機にあるのかを知れば、きっと解決策が見つかるはずです。

(参考文献:『レッドデータブック2鳥類(2014)』ぎょうせい 『わけあって絶滅しました。』ダイヤモンド社)

カンムリワシ

絶滅危惧I A類



(撮影:萩田小夏)

採餌中のロードキル等

エサ動物の捕食中、車等の接近に気づくことが遅くなり、接触して死亡する事故が増えている。



イヌワシ

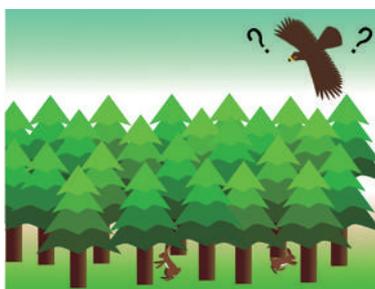
絶滅危惧I B類



(撮影:伊藤智樹)

人工林の増加に伴う、ハンティング場所の激減等

人工エギ林のうっぺいによって、エサ動物が探しにくくなるうえに、林内へ入っていくことが難しくなることで、狩場としての利用ができなくなっている。



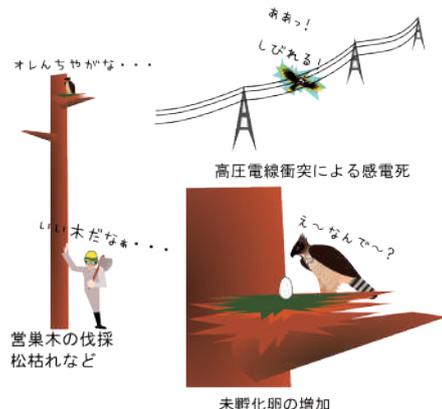
クマタカ

絶滅危惧I B類



(撮影:萩田小夏)

営巣木の伐採による巣の喪失、高圧電線による感電、環境ホルモンの影響による未孵化卵の増加等



わけあって絶滅しそうです。

チュウヒ

絶滅危惧ⅠB類



(撮影:長船裕紀)

生息地のヨシ原の衰退、外来種セイタカアワダチソウの進入、湿地開発等

河川の護岸工事、太陽光発電施設建設等によって、チュウヒの生息適地だった「ヨシ原」が消失してきている。



オジロワシ

絶滅危惧Ⅱ類



(撮影:萩田小夏)

風力発電用風車への衝突事故の急増等

近年各地で建設が進む風力発電施設で、オジロワシはプロペラと同じ高さを飛行することが多く、平成26年までに43羽が風力発電施設へ衝突していることが報告されている。



オオワシ

絶滅危惧Ⅱ類



(撮影:長船裕紀)

鉛中毒の他、汚染されたエサ動物からの生物濃縮等

オオワシが、鉛弾で撃たれたシカなどの死肉に残った鉛弾を食べることによって、鉛中毒になるケースが報告されている。



サシバ

絶滅危惧Ⅱ類



(撮影:長船裕紀)

日本の里地里山環境の悪化、越冬地の東南アジアの環境悪化等

中山間地の谷津田環境は、サシバが好んで営巣する環境であるものの、都市部への人口の流出等によって担い手が不足し、荒れた環境となっている地域が増えてきている。



ハヤブサ

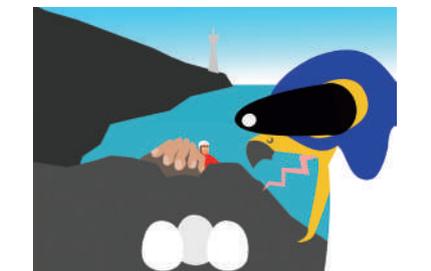
絶滅危惧Ⅱ類



(撮影:長船裕紀)

人間のレジャー活動の多様化によって引き起こされる繁殖妨害等

近年のレジャー活動の多様化で、ロッククライミングなどが人気となり、ハヤブサの営巣場所と知らずにロッククライマーが巣に近付くことで、巣を放棄することが報告されている。



著:丸山貴史 監修:今泉忠明による『わけあって絶滅しました。』(ダイヤモンド社発行)には、子どもたちにもわかりやすく、絶滅した動物たちと絶滅しそう動物たちのことが面白く記載されていて、絶滅生物の入門書としておすすめです。

歩いてみよう！ 山の中

人里ではアブラゼミが鳴き始め、うだるような暑さの日も増えてきました。山登りも楽しいですが、ゆっくりと樹林の下を歩いてみませんか。山の中でじいーとしていると、思いがけない生きものにも会えるかもしれません。

(by 新人専門員)



霊長目ヒト科 ヒト属ヒト

(個体名 萩田小夏)

体長: 160cm

生息地: 全国

生態: きれいな水と緑がある環境を好む。山中で人に会うと、驚いて固まってしまう。

希少種保護増殖等専門員

萩田 小夏

鳥海山をはじめとし、素晴らしい自然環境と生きものが残るこの地域の面白さ、偉さ、楽しさを、みなさまにお伝えする助けとなれましたら幸いです。

よろしくお願いたします。

この6月までは主に鳥海の野外調査員として本州各地の山を巡り、生きものを探す生活をしていました。生まれ育ちは西日本ですが、東北地方の雪に育まれた豊かな生物相と、自然環境を生かした文化の残る暮らしに憧れて、大学進学を機に山形県へ移り住み今年で7年目になります。ここ数年は県内屈指の豪雪地帯にある、山間集落の空き家を借り、山水に頼った暮らしをしていました。雪が一夜で100cm以上積もる冬の大変さはさながら、春の山々の芽吹き、秋の黄葉の鮮やかさは涼しさ、秋の黄葉の鮮やかさは他の地域では見られない見事さがあり、東北の山の豊かさは雪あつてこそそのものなのだあと実感します。これまでに29か国を旅して、世界のような環境を見て歩いてきましたが、東北地方はその中でも随一、生きものが面白い場所であると思います。

はじめまして。こんにちは。

山の緑もひととき濃くなり、様々な生きものが巣立つ季節となりました。この6月より、猛禽類保護センターの希少種保護増殖等専門員に着任いたしました萩田と申します。





Russia, China, Taiwan, Hongkong, South Korea, Indonesia, Australia, Kenya, Latvia, Lithuania, Belarus, Ukraine, Moldova, Romania, Bulgaria, Montenegro, Bosnia and Herzegovina, Croatia, Slovenia, Italy, Austria, Czechia, Slovakia, Belgium, France, Andorra, Spain, United Kingdom

旅をする 専門員の 放浪記

大学時代は旅人でした。今も休日は大体どこかに出かけています。

ラトビアでの活動例



カモ・カモ湖保護環境調査 (Lake Engure, Latvia)



鳥糞殺菌防止用作物・外来植物除去作業、泥炭採取用設備の設置作業、草原維持管理活動 (Kemeru NP, Latvia)



半野生状態の牛馬による自立循環型草原管理、開けた草原環境を好むセアカモズ (Dunburg meadow, Latvia)

活動の多くは一般に公開されており、人々が「保全」とは何か体感し考えることのできる環境がある。用いられる資材は外から新規調達するのではなく、権力現地のもを活用するなど、地元住民だけでも持続させやすい仕組みが整っている。必要十分とはなにか、無理のない暮らしとは何か考えさせられる。

国際化した社会



EUROPARC Youth Manifest Project (Gairngorms NP, Scotland)

欧州中から集まった16-25歳の若者が、流暢に英語を用い本格的に「議論」している様子に焦燥感を感じる。国境を越えて物事を推進させる力と速度が足りない日本は今後、国際的に取り残されるのではないだろうか。

欧州の自然環境と人々



ピレネー山脈山間部・半自然草原環境 (Tor, Spain-Andorra)



バルカン諸国の農村風景 (左:中上:Bosnia and Herzegovina, 中下:Montenegro, 右: Bulgaria)

自然環境は国・地域によってももちろん異なっているが、欧州の人の暮らしから感じる共通した雰囲気がある。たとえば、放牧される動物の多さや、あまり遠岸されていない川岸、無舗装の道路際などを見ても、基本的に人々は大らかに生き物や自然と向き合い、受け入れており、人工物で過剰に抑え込もうとはしていない。災害が多い日本では少し難易度が高いが、自然管理に取り組む姿勢・考え方には転換の余地があるように思う。

文部科学省主導の留学支援プログラム「トビタテ！留学JAPAN」のご支援を受け、2018年2月からの一年間は北ヨーロッパにあるラトビアという国の国立公園の宿舎に住み込みながら野外調査等に参加し、バルト三国やスコットランドなど欧州の国立公園管理や生物保全について学びました。



←ケニアにて、ズグロウロコハタオリ（くちばしで器用に草を編んで木につり下がる巣をつくる小鳥）の巣を間近で見て感動している人。

子供の頃に読んだ本のお話でも、大人になってから実物を見ると、全く違う発見がある。

自分の目で見て、理由を考えて、何かを知るのは楽しい。

世界は、知らない もので満ち満ちて いる。

遠くの国には何がある？

でも、その前に私たちは意外と地元のことを知らない。異国も、日本も、庄内も、知らないままじゃもったいない！

庄内の動物情報コーナー

春から初夏にかけて、肌寒い日が続いた鳥山周辺ですが、6月中旬に梅雨入りが発表されたと思ったらわずか10日ほどで梅雨明けが発表され、観測史上初となる6月中の梅雨明けとなったそうです。農作物への影響も心配です。お住いの地域の自然情報を moukin@raptor-c.com までお寄せください。



2022/4/9 「キセキレイ」 庄内町
上杉鷹山の教え。「鶏のように早起き、
鶺鴒のように子孫繁栄すれば、禄高もぼっ
ぽと上がる」まさにそのセキレイ。
撮影：清原貴広



2022/4/24 「シメ」 酒田市
太いくちばしとぎょろりとした印象の目。強
面ですが、主食は木の実を食べるベジタリ
アンだったりします。根がやさしい頑固おや
じ感？
撮影：佐原弘樹様



2022/4/25 「キンクロハジロ」 遊佐町
時代劇で「先生！先生～！」とよばれて出
てきそうな風貌です。「助さん！格さん！こ
らしめてやりなさい！」
撮影：佐藤忠昭様



2022/5/8 「イソシギ」 鶴岡市
お尻をフリフリしながら愛らしく動き回って
いたそうです。「ほーらイソシギだけど、ここは
磯じゃないのよ～混乱するでしょう？」
撮影：毛呂様



2022/5/2「アカエリヒレアシシギ」 酒田市
河口に1羽だけいたようですが、赤襟が立っ
ているように見えます。これは野鳥界のBIG
BOSSと呼んで差支えないのでは？
撮影：たちん様



2022/5月 「イヌワシ」酒田市
翼に若干白めの部分があります。若い個
体ではあるものの、そろそろ成鳥と認めら
れる年齢になってきたかも？
撮影：宇佐美信一様

全国の動物情報コーナー



2022/5月 「クロハラアジサシ」 酒田市
真っ赤なくちばしで腹が黒いアジサシ。庄
内では初夏に見られる旅鳥です。きれいな
腹黒さですねえ？
撮影：佐々木真一様



2022/6/1 「チョウゲンボウ」 酒田市
曇天のなか、えものを見定める田園のハン
ター。鳥でも小動物でも襲っちゃう！
撮影：池田久浩様



2022/5/1 「サンショウクイ」 新潟県
森の中でピリリと聞こえたらサンショウクイ。
「山椒は小粒でもピリリと辛い」ものですが、
この鳥山椒は食べません。主食は虫です。
撮影：波多美千子様

イベントのお知らせ

○特別企画展示「世界一おもしろい絶滅したい生きもの展」

ダイヤモンド社発行の書籍「わけあって絶滅しました。」を展示化！
肉食恐竜や首の長い恐竜、近現代に絶滅してしまった生き物たちが
集合しました。生き物たちのつぶやきから「絶滅」について、面白おかし
く考える展示会です。

場 所 鳥海イヌワシみらい館(猛禽類保護センター)
展示期間 令和4年9月4日(日)まで
開館時間 午前9時～午後4時30分
入 館 料 無料※密集を回避するため予約が必要です。
主 催 猛禽類保護センター活用協議会
特別協力 ダイアモンド社 今泉忠明 丸山貴史 国府田良樹
協 力 国立科学博物館 神奈川県立生命の星・地球博物館
栃木県立博物館 群馬県立自然史博物館
京都大学総合博物館 葛西臨海水族園 山形県立博物館
大田原市ふれあいの丘自然観察館 内山春雄
サトウマサノリ ウエタケヨーコ いわさきみずき 櫻井俊一
月山ゾウ学術調査団
後 援 酒田市教育委員会



○ミライニ共催トークイベント「わけあって絶滅を語る」

ダイヤモンド社発行の書籍「わけあって絶滅しました。」著者で図鑑製
作者の丸山貴史先生によるトークイベントを開催します！テレビ番組
「世界一受けたい授業」にも出演している先生のお話を直接聞食ことが
できる機会です。ぜひご来場ください！

開 催 日 令和4年8月21日(日)
時 間 午前10時～正午
場 所 酒田市立中央図書館ミライニ
定 員 先着80名
参 加 費 無料※予約が必要です。
申 込 先 酒田市立中央図書館ミライニ
※8月5日(金)より受付開始
電話 0234-24-2996
E-mail;info@miraini-sakata.jp
主 催 猛禽類保護センター活用協議会
酒田市立中央図書館ミライニ
協 力 ダイアモンド社 八文字屋



ミライニ イベントページ



○フィールドワークショップ「森林とイヌワシがらすSDGs」

希少種イヌワシを保全する環境省と、イヌワシ生息地である国有林を整備する林野庁による共催観察会です。

開 催 日 令和4年9月3日(土)
時 間 午前9時～午後3時
定 員 先着20名※8月19日(金)より受付開始
参 加 費 一人500円(バス・保険・資料代)
申 込 先 猛禽類保護センター・鳥海イヌワシみらい館
電話 0234-64-4681 E-mail ; moukin@raptor-c.com
共 催 猛禽類保護センター活用協議会
林野庁 東北森林管理局 庄内森林管理署



"とびしまんちゅ流"鳥見のススめ



楽しく、そしてより良い鳥見をするための「小さな親切、大きなお世話」な”ひとり言”です(˘;Have a nice Birding!

第2回「光学機器選び」



「筆者愛用の双眼鏡たち」
大きさ軽さとも、中央が一番使いやすい

筆者が中学2年生の時にお年玉を貯めて初めて買った双眼鏡が、N社の7×35。当時はメーカーも機種も少ない中、主流の8×30よりも明るくてよかった。

時代はすっかり変わり、国内外問わず、近年は高級で優れている光学機器が多い。特に国外メーカーのS社の双眼鏡・望遠鏡は人気が高く、30万円以上もする機器を初心者でも使っている。なんともうらやましい話だ。当然、値段が高ければ性能はいいし、口径が大きければ明るいので細部まで良く見えることは間違いない。が、しかし、そんな高級光学機器を使っているにも関わらず、識別できない人がけっこういる。何故か？理由の多くは羽衣だけで識別しようとしているからだ。逆に言えば、羽衣以外をヒントに識

別できれば、わざわざ高いお金を出して高級光学機器を買う必要などない(もちろん、倍率や口径など状況に応じた光学機器をそろえるに越したことはないが…。)

高級光学機器は、明け方や日暮れ時など極端に暗い場合は、その威力を十分に発揮する。しかし、日中は一般的な光学機器とあまり差がない。一般の人が光学機器を極端に暗い場面で使う時など、一体、年間どれくらいあるだろうか？また、口径が大きくなればなるほど本体は大きくなり重くなるし、望遠鏡の場合は比例して三脚も大型化する。すると、双眼鏡の場合は首や肩が凝ったり、望遠鏡の場合は「重たいから置いていこう」となる。これでは本末転倒(重くても体への負担を減らす方法はあるが、またの機会に！)。前述したとおり、羽衣以外で識別することさえ習得すれば、小さくて軽い一般的な金額の光学機器で充分だ！もともと、識別できない人が多少なりともいるので、私の仕事(バードウォッチング・ツアーガイド)は成り立ってはいけるのだが…(˘;)



築川 堅治 (やながわ けんじ)
日本野鳥の会山形県前支部長。中学二年生よりバードウォッチングを始め、現在はバードウォッチング・ツアーガイドや鳥類調査などを行っている。ライフワークは「飛鳥」。自称”とびしまんちゅ”春秋の渡りの時期を中心に年間約70日間、飛鳥に滞在し飛鳥の野鳥を調べている。著書「日本の離島の野鳥①飛鳥」(わたりがらす出版)



Illustrated by Masami Tsuno

©鳥海イヌワシみらい館

普及啓発担当

コロナウイルスの影響で出来なかったイベントがようやく開催できるまでになってきました。大変な時期を我慢して、のりこえてきた子供達に楽しんでもらえたら嬉しいです。(本)

事務局

夏休みに入りましたね。日焼けで真っ黒になるほどプールに行ったことを思い出します。あとは…宿題はあと回し。毎年「今年こそは！」と誓う目の前にはいろんな誘惑が…「もっと休みが欲しい」っていうのも思っていました。(清)

鳥海南麓自然保護官

窓から入る風が気持ち良い季節になりました。涼を求めて窓を全開にしていると、いつも増して野鳥たちの声が聞こえてきます。今朝、久々にけたたしい声が聞こえたので外を見てみると、いつもの場所にハヤブサがとまっています。朝からプチラッキーな気持ちになりました。(澤)

編集後記&施設情報 鳥海イヌワシみらい館 8月～10月の開館情報

開館時間・・・9:00～16:30

入館料・・・無料

休館日・・・9月上旬に展示替えのための臨時休館あり

臨時休館日はホームページにてお知らせします。

ホームページアドレス : <http://www.raptor-c.com/>

<https://www.facebook.com/Raptoreagleraptor>

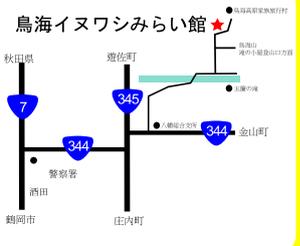
猛禽類保護センター

〒999-8207

山形県酒田市草津湯ノ台71-1

TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683

E-mail: moukin@raptor-c.com



鳥海イヌワシみらい館通信
Vol.43 夏号

発行: 猛禽類保護センター活用協議会
(事務局 鳥海イヌワシみらい館内)